

自然災害履歴デジタル地図およびデータベース構築に関する研究

共同研究機関名 地質研究所

担当部科 環境科学部都市防災科

研究の目的

近い将来における噴火が懸念されている樽前山及び北海道駒ヶ岳の過去の噴火履歴情報・各種文献を収集し取りまとめ、自然災害履歴デジタル地図およびデータベースを作成しインターネットで発信することを目的とします。

研究概要

本研究は平成15年度～17年度の研究であり、本年は樽前山について以下の項目を実施しました。

自然災害履歴に関する調査

災害を発生させた自然現象およびその被災状況の情報を収集しました。

建築現況に関する調査

避難所の情報を収集しました。

空間分布情報のデジタル化に関する研究

収集した自然災害及び建築現況の空間分布情

報を、地理情報システムを用いてデジタル情報に変換し、デジタル地図を作成しました。

災害履歴データベースの開発

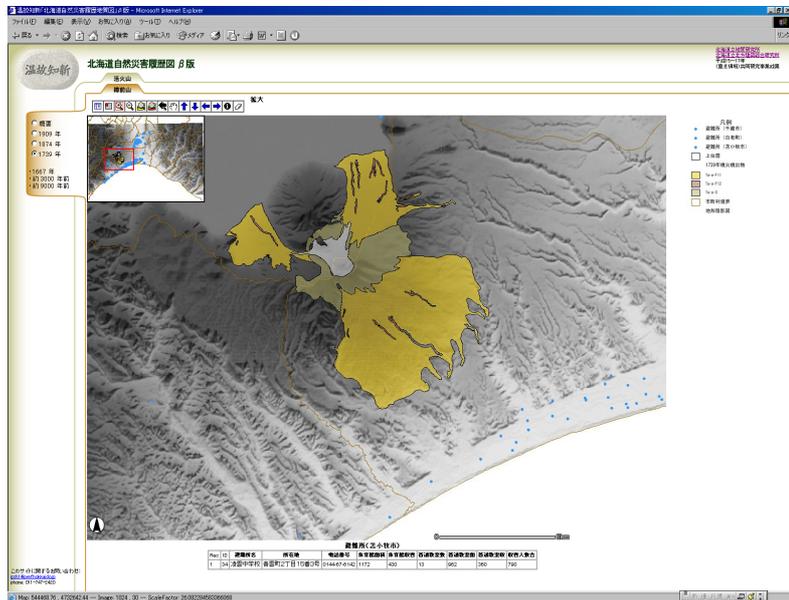
収集した情報に基づいてデジタル地図とリンクしたデータベースを設計した上、データを入力してデータベースを作成しました。

表示・検索インターフェースの開発

開発したデジタル地図およびデータベースを表示・検索するためのインターフェースを開発しました。

デジタル地図及びデータベースの項目

自然災害履歴項目		データベース項目		
1909年噴火	溶岩ドーム	地層名	岩相	岩質
1874年噴火	火砕流堆積物	地層名	岩相	岩質
1739年噴火	火砕流堆積物	地層名	岩相	岩質
建築現況項目				
避難施設	恵庭、千歳、 苫小牧、白老、	住所	連絡先	収容 人数



画面の作成例

活用方法・成果

次年度以降は、樽前山におけるその他の履歴及び建築・都市施設の情報を整理すると共に、北海道駒ヶ岳に関しても調査を行います。また、作成した情報をインターネットで発信していく予定です。